

SIL 調査レポート

『データで読み解く、日本の平和意識の現在地』

Social/
Issue/
Lab/ **SIL**

はじめに

「あなたにとって平和とは何ですか？」

そう聞かれてパッと答えられる人は多くないのではないのでしょうか。

「平和」と聞くと「テーマが壮大すぎて何から考えていいか分からない」

「戦争を経験したわけでもないし、家族に関係していた人がいるわけでもないから、口に出すのは気が引ける」
そんな思いから当事者として考えづらく、「平和」が遠い存在になってしまっている人も多いのではと思います。

私たちの考える「平和」とは、人が幸せに生きていくための当たり前の尊厳が守られ、安心して暮らせることであり、
皆が当事者として知り、考え、向き合うことで、平和は守られていくと考えています。

『平和について知る機会をつくることで、平和の総量を増やしていきたい』

今回の調査では、生活者の抱える平和への思いを明らかにしていきます。

調査概要

| | |
|-------|---|
| 調査対象者 | 全国の15-79歳 ※中学生以下は除く |
| 回答者数 | ①生活者一般:2,000人／②平和について活動したことがある人:200人 |
| 割付方法 | ①生活者一般:令和2年国勢調査の性年代構成比に基づいて割付し、世の中の縮図を再現 ②平和について活動したことがある人:平和に関する、メディア発信/教育/啓蒙活動/抗議活動/政策提言/ロビー活動/人道支援のいずれかに主体者・主体団体として関与したことがある人 |
| 調査方法 | インターネットリサーチ |
| 調査期間 | 2025年5月16日(金)～5月19日(月) |
| 調査企画 | QO株式会社 |
| 調査委託先 | 株式会社マクロミル |

Summary

Part1 平和の現在地

「今の日本の平和」への評価は高いが、未来への不安感から「今後の日本は平和になると思う」の予想はわずか1割

「日本の平和」に点数をつけてもらおうと平均点は64点で、「世界の平和の点数」や「その他の社会課題の点数」と比較して高めの評価となりました。一方で、「今後の平和予想」は楽観的ではなく、「平和になると思う」と回答した人はわずか1割に留まりました。その理由として、“いつ戦争が起こるかわからない”といった声が目立っています。ただ、未来への不安は抱えながらも、9割以上の人は「日本が/世界が平和であってほしい」と願っていることも分かりました。

Part2 平和への関心と 行動実態

日常でできる手軽なことから取り組みつつも、平和行動までの距離は遠い

具体的なトピックへの関心では、「人権の尊重」といった根源的なものに加えて、「核兵器の廃絶」「日米同盟と平和外交」「テロ対策」などの平和を直接脅かす事柄への関心が高いことが分かりました。平和への取り組みとしては、「平和に関するニュースや動画を見る」「家族や友人と平和について話す」など、日常の中で手軽に取り組めることが上位となりましたが、スコアが高いものでも3割程度と、行動することの難しさがみえてきました。

Part3 平和への課題認識 と取り組みまでの ハードル

物理的なハードルよりも、「考えても答えがでない」などの心理的ハードルが平和行動を阻んでいる

平和についての具体的な事柄では、聴取したほとんどの項目で7割以上の人が「課題である」と認識していることが分かりました。なかでも『サイバー安全保障』『核兵器の廃絶』『移民・難民問題』では「深刻であり、今すぐ対応すべき課題である」と考えている人が比較的多く、喫緊の課題であるとみなされています。また、平和を願う気持ちの表明経験と意向にはギャップがあり、表明をしたい気持ちはあっても行動に移せないジレンマを抱えている生活者も存在しています。平和への行動を阻むものとしては、「時間的なゆとりがない」といった物理的なものよりも、「考えても答えが出ないこと」などの心理的な負担が大きいようです。

Part4 平和を願う 温かな気持ち

「当たり前前の日常が続いてほしい」と願い、ハードルがある中でも平和への取り組みに前向きな生活者

心理的なハードルが存在している中でも、「平和に関連する日を覚えて意識する」「平和に関連したメッセージ性のある作品に触れる」などの行動に対する意向は高く、小さなアクションから始めてみたいと思う生活者の前向きな姿勢がみられます。「たとえ今後、平和でなくなったとしても、無くならないでほしいこと」としてあげられたのは、決して特別なことではなく、これまで築かれてきた日本の文化や、これからの子どもや孫世代などを思い、「当たり前前の日常がどうか続いてほしい」という願いでした。



Part1

平和の現在地

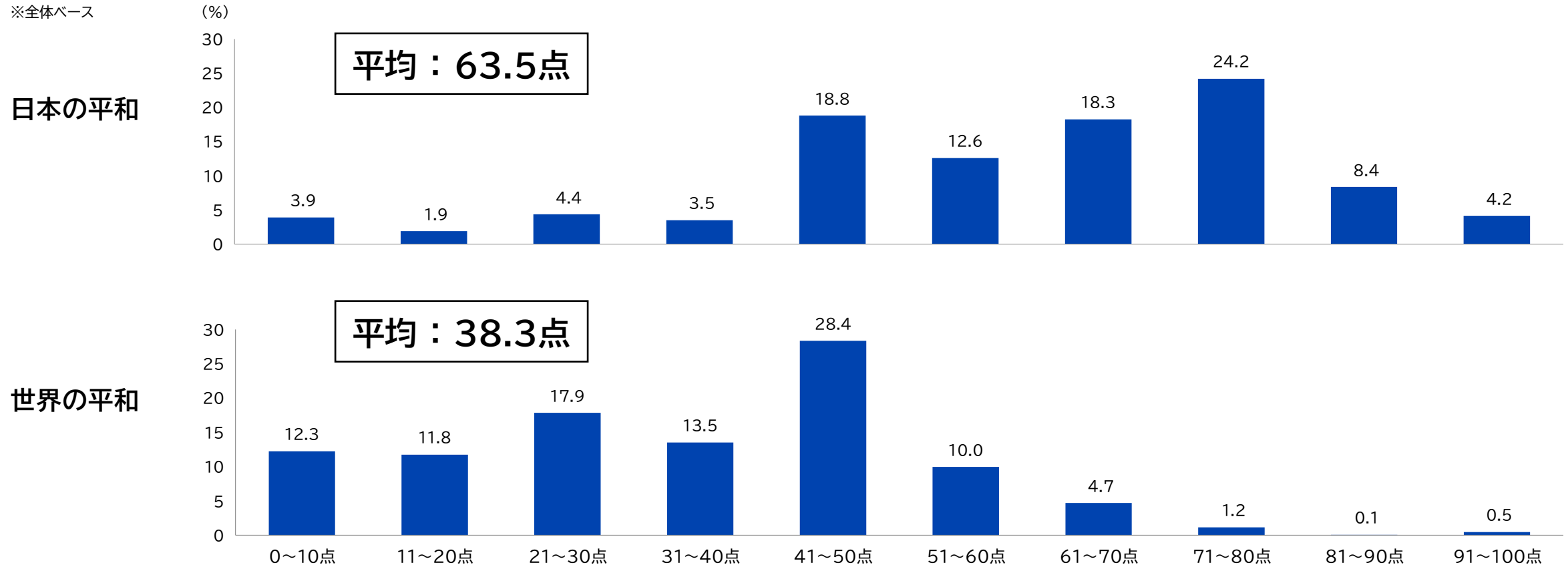
Part1
平和の現在地

現在の日本・世界における平和の点数

日本と世界の平和について、社会にとって理想の状態を100点としたときの現在の点数を聞いたところ、「日本の平和」の平均点は63.5点。ボリュームゾーンは41点～80点でした。

一方で、「世界の平和」の平均点は38.3点。「41～50点」が3割に達し、ほとんどが50点以下に分布しています。世界と比較すると、「日本の平和」の点数は高いことが分かります。

Q1. あなたは現在の「日本の平和」と「世界の平和」について、点数をつけるなら何点だと思いますか。社会にとって理想の状態を100点として、0から100点の間でそれぞれ自由にお答えください。



Part1

平和の現在地

日本における社会課題の点数

日本におけるその他の社会課題の点数も聞いたところ、平均点が40点台のものが多く、それらと比較しても「日本の平和」点数は際立って高いことが分かります。

社会課題のなかでも、「地域の過疎化・衰退」「少子高齢化」「政治不信・政治離れ」は10点以下の割合が20%超、平均点も30点台となっており、理想とのギャップが大きいことが見てとれます。

Q3. それでは、日本におけるその他の社会課題は何点だと思いますか。社会にとって理想の状態を100点として、0から100点の間でそれぞれ自由にお答えください。

※整数でお答えください

※全体ベース

| (n=2000) | 0～10点 | 11～20点 | 21～30点 | 31～40点 | 41～50点 | 51～60点 | 61～70点 | 71～80点 | 81～90点 | 91～100点 | 平均点 |
|----------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|------|
| 日本の平和 | 3.9 | 1.9 | 4.4 | 3.5 | 18.8 | 12.6 | 18.3 | 24.2 | 8.4 | 4.2 | 63.5 |
| 世界の平和 | 12.3 | 11.8 | 17.9 | 13.5 | 28.4 | 10.0 | 4.7 | 1.2 | 0.1 | 0.5 | 38.3 |
| 防災・減災 | 12.4 | 5.3 | 8.1 | 6.6 | 23.7 | 14.6 | 13.3 | 11.4 | 2.8 | 2.0 | 50.0 |
| 気候変動 | 13.1 | 6.1 | 8.6 | 4.9 | 30.7 | 13.4 | 9.9 | 9.0 | 2.5 | 1.9 | 47.9 |
| 情報格差 | 16.8 | 5.8 | 6.0 | 5.6 | 32.5 | 10.3 | 11.0 | 9.1 | 1.7 | 1.4 | 45.9 |
| 安全保障・外交・国交正常化 | 16.8 | 8.3 | 9.2 | 8.4 | 24.0 | 13.1 | 10.9 | 6.9 | 1.5 | 1.3 | 43.9 |
| エネルギー問題 | 15.0 | 8.2 | 11.3 | 6.7 | 29.2 | 11.6 | 9.3 | 6.5 | 1.2 | 1.3 | 43.9 |
| ジェンダー格差 | 20.0 | 7.1 | 8.0 | 7.0 | 28.5 | 8.8 | 8.8 | 7.5 | 2.5 | 1.9 | 43.1 |
| 経済格差・貧困 | 20.2 | 8.5 | 12.0 | 9.2 | 22.2 | 9.0 | 8.0 | 7.2 | 2.1 | 1.8 | 41.2 |
| 労働力不足・外国人労働者問題 | 20.4 | 8.0 | 11.2 | 8.7 | 26.3 | 10.4 | 6.9 | 5.6 | 1.2 | 1.4 | 40.4 |
| 地域の過疎化・衰退 | 21.8 | 9.2 | 12.4 | 10.0 | 24.5 | 8.7 | 5.3 | 5.3 | 1.5 | 1.5 | 38.7 |
| 少子高齢化 | 26.3 | 11.8 | 12.6 | 8.3 | 18.2 | 6.3 | 4.8 | 6.8 | 2.5 | 2.7 | 37.2 |
| 政治不信・政治離れ | 26.3 | 11.3 | 12.1 | 8.7 | 19.7 | 7.6 | 4.6 | 5.6 | 1.9 | 2.5 | 36.8 |

Part1 平和の現在地

「日本の平和」点数の理由

「日本の平和」点数の理由としては、“世界的にみると日本は戦争もなく治安もよいが、いつ戦争が起こるかわからない”“人々に余裕がない”など、日本で戦争が起こっていない現状への安心とともに、戦争が起こりそうな未来への不安も垣間見えます。
「100点になるために不足していること」では、“精神的なゆとり”“政治・平和への関心”など個人でできることに加え、“外交”の声があがりました。

Q2. 先ほどの質問で、日本の平和について、【Q1S1回答内容参照】点くらいだと思ってお答えいただきましたが、その点数をつけた理由をお答えください。また100点以外を回答された方は、100点になるために何が不足していると思いますか。

※全体ベース

日本の平和点数の理由



- 日本は他国に比べてかなり治安も良く平和で、貧困者も少ない国だと思うから (女性_70代、70点)



- 第二次世界大戦後、戦争をしていないから。内戦もないから。戦争はないけどこの世の閉塞感 (男性_30代、90点)
- 治安の面では世界の中でもトップクラスに良いと思うが、少し前よりも悪化はしている。人々にも余裕がない (男性_20代、70点)
- 世界基準で考えたらまだまだ平和だなど思うことも多い一方で、昔はなかったような事件も最近多いので (女性_30代、70点)
- 治安はよく戦争はないが今の世界状況をみていると戦争が起こりそう (男性_40代、70点)
- 世界の平和が保たれていないため、日本も巻き込まれる危険性があるため (男性_50代、70点)



- 世界がどんどんピリピリしているから (男性_20代、0点)
- 生活・教育等の格差が広がり、心の差別は根強く残っているから (女性_50代、50点)
- 平和でいることを当たり前のことだと思っている (男性_70代、50点)

100点になるために不足していること

精神的なゆとり

- 精神的なゆとりのある生活 (女性_40代、25点)
- 皆が自分の事ばかりではなく他人の事も考えられる様になる事 (女性_40代、60点)
- 早急に国内の経済を立て直し、人々が心にも余裕を持てる水準の生活にし、多くの子どもが良い環境で育つようにする (女性_50代、55点)

個人でできること

- 政治に関心を持ち、選挙に参加投票すること (男性_70代、60点)
- 負の歴史を忘れない (男性_70代、50点)
- 核についての議論を避けてはいけない (男性_30代、45点)

外交

- 日本独自での努力では達成できないと思います。外交を通じて世界の平和を保つしか無いと思います (男性_50代、70点)
- 100点になるのは他国との関係なのでとても難しいと思いますが、強いて言えば外交でしょうか (女性_70代、80点)

Part1

平和の現在地

平和ではない世界から連想すること

「平和ではない世界」だと感じる言葉について聞いてみると、「戦争がある世界」「暴力がある世界」が8割程度で、『平和』の対義語としては“戦争”や“暴力”がイメージされやすいようです。

年代別では、70代で「自由が保障されていない世界」が全体を大きく上回りました。戦後の混乱期に生まれ育った世代であることから、自由の尊さをより実感していることが推察されます。10代では「差別がある世界」が高く、人権意識に基づく理解がなされている様子がうかがえます。

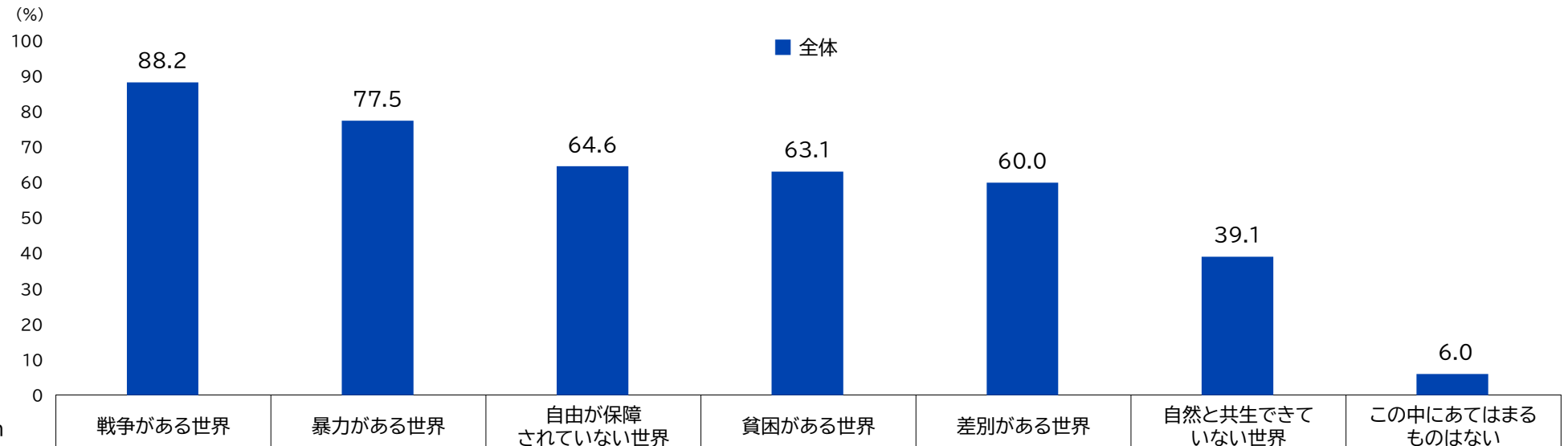
Q11. 次にあげる言葉の中で、あなたが「平和ではない世界」だと感じるものはありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※全体ベース

n=30以上の場合

[比率の差]

- 全体+10ポイント
- 全体 +5ポイント
- 全体 -5ポイント
- 全体-10ポイント



| | | n | 戦争がある世界 | 暴力がある世界 | 自由が保障 されていない世界 | 貧困がある世界 | 差別がある世界 | 自然と共生できて いない世界 | この中にあてはまる ものはない |
|-----|--------|-------|---------|---------|-------------------|---------|---------|-------------------|--------------------|
| 全体 | | 2,000 | 88.2 | 77.5 | 64.6 | 63.1 | 60.0 | 39.1 | 6.0 |
| 年代別 | 15-19歳 | 117 | 88.0 | 75.2 | 71.8 | 71.8 | 74.4 | 52.1 | 4.3 |
| | 20代 | 247 | 77.3 | 71.3 | 59.1 | 62.3 | 56.7 | 36.8 | 12.6 |
| | 30代 | 284 | 82.7 | 73.6 | 56.0 | 58.5 | 54.6 | 32.0 | 9.5 |
| | 40代 | 370 | 85.7 | 77.6 | 57.6 | 61.6 | 54.9 | 31.4 | 7.0 |
| | 50代 | 336 | 90.2 | 76.5 | 60.4 | 62.8 | 58.9 | 39.0 | 6.0 |
| | 60代 | 317 | 92.7 | 81.7 | 69.1 | 59.6 | 59.9 | 41.6 | 2.5 |
| | 70代 | 329 | 97.6 | 83.0 | 81.2 | 69.6 | 68.7 | 48.3 | 0.9 |

Part1

平和の現在地

今後の平和予想

今後、日本や世界は今より平和になると思うか？を尋ねると、「平和になると思う・計」は日本・世界ともに1割程度に留まり、「平和でなくなると思う・計」が多数派となりました（日本は4割超、世界は5割超）。年齢が上がるほど、今後平和から遠ざかっていくと予想する人が多くなっています。日本も世界も、未来に明るい展望を抱きにくい状況にあるようです。

一方で、「平和について活動したことがある人」では、「平和になると思う」の割合が比較的高いことも分かっています。

平和について活動をするのが自己効力感の醸成につながっているためか、未来に希望を持っている様子がうかがえます。

Q4. 今後の「日本」や「世界」は、今よりも平和になると思いますか。それとも平和ではなくなると思いますか。

(%)

※全体ベース

日本

| | | n | 平和になる と思う | | やや平和になる と思う | あまり変わらない と思う | やや平和でなくなる と思う | 平和でなくなる と思う | 平和になる と思う・計 | 平和でなくなる と思う・計 |
|------------------|--------|-------|--------------|------|----------------|-----------------|------------------|----------------|----------------|------------------|
| 全体 | | 2,000 | 4.9 | 9.0 | 43.6 | | 26.3 | 16.3 | 13.9 | 42.5 |
| 年代別 | 15-19歳 | 117 | 12.8 | 17.1 | 33.3 | | 20.5 | 16.2 | 29.9 | 36.8 |
| | 20代 | 247 | 6.9 | 12.6 | 44.1 | | 20.6 | 15.8 | 19.4 | 36.4 |
| | 30代 | 284 | 7.0 | 8.8 | 41.2 | | 24.3 | 18.7 | 15.8 | 43.0 |
| | 40代 | 370 | 4.6 | 11.1 | 44.3 | | 22.7 | 17.3 | 15.7 | 40.0 |
| | 50代 | 336 | 2.4 | 7.4 | 44.3 | | 25.6 | 20.2 | 9.8 | 45.8 |
| | 60代 | 317 | 3.8 | 6.9 | 42.6 | | 31.2 | 15.5 | 10.7 | 46.7 |
| | 70代 | 329 | 2.7 | 4.9 | 48.3 | | 34.0 | 10.0 | 7.6 | 44.1 |
| 平和について活動したことがある人 | | 200 | 19.5 | | 25.5 | 24.5 | 17.0 | 13.5 | 45.0 | 30.5 |

世界

| | | n | 平和になる と思う | | やや平和になる と思う | あまり変わらない と思う | やや平和でなくなる と思う | 平和でなくなる と思う | 平和になる と思う・計 | 平和でなくなる と思う・計 |
|------------------|--------|-------|--------------|------|----------------|-----------------|------------------|----------------|----------------|------------------|
| 全体 | | 2,000 | 2.8 | 7.6 | 37.3 | | 29.3 | 23.1 | 10.4 | 52.4 |
| 年代別 | 15-19歳 | 117 | 5.1 | 20.5 | 35.0 | | 23.9 | 15.4 | 25.6 | 39.3 |
| | 20代 | 247 | 3.6 | 7.3 | 48.6 | | 23.1 | 17.4 | 10.9 | 40.5 |
| | 30代 | 284 | 4.9 | 10.2 | 38.0 | | 25.0 | 21.8 | 15.1 | 46.8 |
| | 40代 | 370 | 4.1 | 9.2 | 42.2 | | 24.1 | 20.5 | 13.2 | 44.6 |
| | 50代 | 336 | 1.2 | 5.1 | 35.4 | | 32.1 | 26.2 | 6.3 | 58.3 |
| | 60代 | 317 | 1.6 | 5.0 | 35.3 | | 30.9 | 27.1 | 6.6 | 58.0 |
| | 70代 | 329 | 0.9 | 4.0 | 27.4 | | 41.0 | 26.7 | 4.9 | 67.8 |
| 平和について活動したことがある人 | | 200 | 8.0 | | 18.0 | 31.5 | 22.0 | 20.5 | 26.0 | 42.5 |

※平和になると思う計は「平和になると思う」+「やや平和になると思う」計／平和でなくなると思う計は「平和でなくなると思う」+「やや平和でなくなると思う」計

Part1
平和の現在地

平和予想の理由

今後の平和予想の理由を聞いてみたところ、日本については、“人々が平和を守ろうとしているため”というポジティブな意見がみられました。一方で、ネガティブな理由としては“(より良い)変化につながる動きが起こらなそう”“世界情勢が悪化している”などがあがりました。世界については、“戦争が終わる気配がない/繰り返し戦争が起こりそう”という声のほか、“自国ファースト主義が蔓延している”といった声があがり、ここ数年の世界情勢や、メディアを通して触れている戦争や紛争に関する情報などの影響がうかがえます。

Q5. その理由をそれぞれお答えください。

※全体ベース

日本

戦争に巻き込まれていないから

- 戦争に巻き込まれてないから（女性_15-19歳、やや平和になると思う）

人々が平和を守ろうとするから

- 戦争を回避したいと言う気持ちを持つ人々が大勢を占めているから（男性_60代、やや平和になると思う）
- 争う理由がないことに人びとが気付くから（女性_60代、やや平和になると思う）
- 戦争の悲惨さや当時の人々の苦しみ語り継がれ、平和を守っていこうとする大勢の日本人がいるから（女性_60代、あまり変わらないと思う）

(より良い)変化につながる動きが起こらなそう

- まだ変えようと思えば変えられる、だが実際動くかどうか分からない（男性_40代、あまり変わらないと思う）
- 政治家が、トップが変わらない限り無理だと思うから（女性_15-19歳、あまり変わらないと思う）

世界情勢の悪化

- より良くなる未来が想像出来ない。世界全体がよくなってからじゃないと日本は変わらない（男性_20代、あまり変わらないと思う）
- 世界情勢の悪化、経済的に不安定が続くと思うから（女性_70代、あまり変わらないと思う）
- 戦争に巻き込まれる可能性が以前より高くなってきている（男性_70代、やや平和でなくなると思う）

世界

願いを込めて

- そうあって欲しいと言う願いを込めて（女性_60代、やや平和になると思う）

今より悪くはならない

- 各地の戦争を通して、反省すると思うため（男性_30代、やや平和になると思う）
- 現在よりも悪くならないから（男性_60代、やや平和になると思う）

戦争が終わる気配がない/繰り返し戦争が起こりそう

- 戦争が続いていて終わる気配がないから（女性_25-29歳、あまり変わらないと思う）
- まだ戦争がおきており核を保有している（男性_30代、あまり変わらないと思う）
- ミサイルの打ち合いをしている以上平和にはならない（男性_50代、あまり変わらないと思う）
- 戦争が一つ終わっても別の争いが生まれそう（男性_15-19歳、あまり変わらないと思う）
- 第三次世界大戦が起こるのではないかと懸念している（男性_40代、平和でなくなると思う）

自国ファースト主義が蔓延している

- 自国に足りないものを他国から奪おうとする感覚を隠さなくなってきた大国が増えたと思う（女性_40代、やや平和でなくなると思う）
- 自国ファースト主義が蔓延しつつある（男性_50代、やや平和でなくなると思う）

Part1

平和の現在地

平和を望んでいるか

今後の日本や世界が平和であってほしいと望んでいるかについて聞いたところ、日本・世界ともに「望んでいる(TOP1)」が約8割となりました。ほとんどの方が、日本であれ世界であれ、「平和であってほしい」と望んでいることが分かります。

年代別でみると、20代以上では年代が上がるほど「望んでいる(TOP1)」の割合が高くなり、60代・70代では9割程度に達しています。

Q6. あなたは今後の「日本」や「世界」が平和であってほしいと望んでいますか。

※全体ベース

(%)

日本

| | | n | 望んでいる | どちらかといえば望んでいる | どちらともいえない | どちらかといえば望んでいない | 望んでいない | 望んでいる・計 |
|----|--------|-------|-------|---------------|-----------|----------------|----------|---------|
| 日本 | 全体 | 2,000 | 81.4 | | | | 12.8 4.6 | 94.2 |
| | 15-19歳 | 117 | 84.6 | | | | 9.4 5.1 | 94.0 |
| | 20代 | 247 | 69.6 | | | | 18.6 7.3 | 88.3 |
| | 30代 | 284 | 75.7 | | | | 14.4 8.8 | 90.1 |
| | 40代 | 370 | 77.8 | | | | 15.4 4.9 | 93.2 |
| | 50代 | 336 | 78.9 | | | | 14.9 5.7 | 93.8 |
| | 60代 | 317 | 89.6 | | | | 8.5 1.6 | 98.1 |
| | 70代 | 329 | 92.4 | | | | 7.3 | 99.7 |

世界

| | | n | 望んでいる | どちらかといえば望んでいる | どちらともいえない | どちらかといえば望んでいない | 望んでいない | 望んでいる・計 |
|----|--------|-------|-------|---------------|-----------|----------------|-----------|---------|
| 世界 | 全体 | 2,000 | 77.3 | | | | 15.1 5.5 | 92.4 |
| | 15-19歳 | 117 | 82.1 | | | | 12.8 3.4 | 94.9 |
| | 20代 | 247 | 66.4 | | | | 18.6 10.5 | 85.0 |
| | 30代 | 284 | 70.8 | | | | 18.0 7.0 | 88.7 |
| | 40代 | 370 | 70.3 | | | | 20.8 6.2 | 91.1 |
| | 50代 | 336 | 77.4 | | | | 14.6 6.5 | 92.0 |
| | 60代 | 317 | 86.1 | | | | 10.4 2.8 | 96.5 |
| | 70代 | 329 | 88.8 | | | | 9.4 1.5 | 98.2 |

※望んでいる計は「望んでいる」+「どちらかといえば望んでいる」計／望んでいない計は「望んでいない」+「どちらかといえば望んでいない」計

Part1

平和の現在地

平和を望んでいる理由

なぜ日本や世界が平和になってほしいと望んでいるのか？と聞くと、

日本については、子どもや孫など“次の世代のため”という声や“みんなが当たり前に幸せに暮らせる世界がいい”という願いの他、戦争が起こってしまったときの悪影響を想定して、「人を傷つけない」「争いは負の連鎖を生む」などの声がみられています。

世界においては、「世界の平和＝日本の平和にも繋がる」といった意見や、“これ以上、戦争による犠牲を増やさないでほしい”“多国間で協調できる世界であってほしい”などの願いが多くみられました。

Q7. その理由をそれぞれお答えください。

※全体ベース

日本

次の世代のため

- 子供や孫の世代が平和で居心地の良い国であってほしいため（男性 40代、望んでいる）
- 子供達が夢や希望が持てる様な国であって欲しいから（女性 50代、望んでいる）
- 太平洋戦争直後に生まれた者にとって、戦後の米軍占領下の日本の状況で育った経験を、2度とこれからの青少年に経験させたくないから（女性 70代、望んでいる）

みんなが当たり前に幸せに暮らせる世界がいい

- みんなが幸せに暮らせるような世界がいい（女性 15-19歳、望んでいる）

歴史から学んで欲しい

- 過去の歴史から学んで欲しい（女性 20代、望んでいる）

戦争による悪影響

- 穏やかに暮らしていきたいし、これからの人にもそうあって欲しいから。傷つけ合う事は虚しいし、何の為に生まれてきたのかわからないと思うから（女性 60代、望んでいる）
- 人が亡くなるのは悲しい（男性 60代、望んでいる）
- 人を警戒して生きていたくない（女性 50代、望んでいる）
- 人を傷つけないから（男性 20代、望んでいる）
- 戦争ほど理不尽なものはないから（女性 70代、望んでいる）
- 争いは負の連鎖を生む（男性 70代、望んでいる）

世界

これ以上、戦争による犠牲を増やさないでほしい

- これ以上弱い立場の人が犠牲になるのは見たくないの（男性 20代、望んでいる）
- ガザの様子を見ると 気の毒でならない（女性 50代、望んでいる）
- 争いは争いしか生まれないと思うので、人の命の尊さを一番に考えてほしい（男性 30代、望んでいる）

どの国の人も安心して幸せに暮らしてほしい

- どの国の人も安心して幸せに生きて欲しいし、世界平和＝日本の平和にも繋がると思うから（女性 20代、望んでいる）
- どの国の人も平和な中で暮らしたいと思っているだろうし自由に行き来するには平和でないといけないと思うから（女性 70代、望んでいる）

多国間で協調できる世界であってほしい

- お互いに助け合って分かり合って生きていく方が楽しいから（男性 40代、望んでいる）
- お互いの国が、お互いに理解しあって、紛争の起きない社会であってほしい（男性 70代、望んでいる）
- たとえ違う民族や、肌の色や、国籍であっても、みんな同じ人間として尊いので、争って欲しくないから（女性 15-19歳、望んでいる）
- この国は私の物、平和は二の次などと考える人が一人でも少なくなしてほしいです。世界平和がいかに大切で重要なことか世界の一人一人が振り返って考えて欲しいです（女性 70代、望んでいる）



Part2

平和への関心と行動実態

Part2 平和への関心と 行動実態

平和に関する事柄の認知率

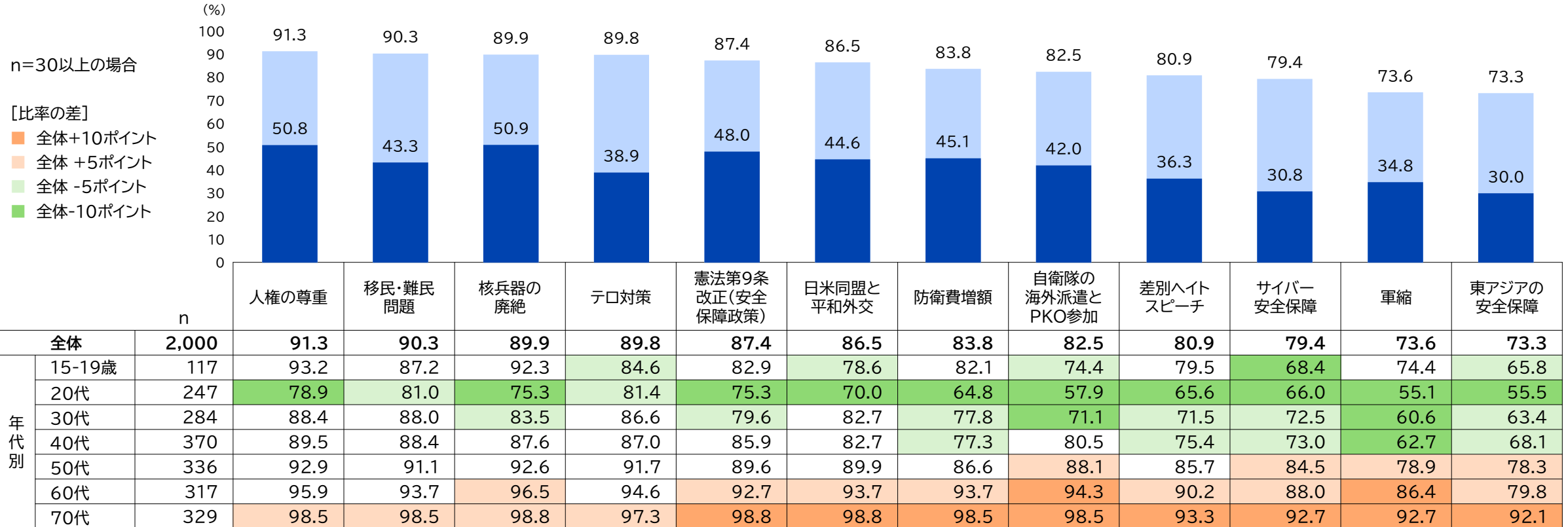
平和に関する事柄についてどの程度ご存じか聞いたところ、ほとんどの項目で8～9割が認知(詳しく知っている+大まかなことは知っている+聞いたことがある)しているものの、理解(詳しく知っている+大まかなことは知っている)に絞るとその半分程度までスコアが下がり、必ずしも理解されているとはいえないようです。

年代別の認知率を見ると、20代～70代にかけて、年代が上がるほど認知率は高くなる傾向がみられ、平和を望む人の割合と比例することが分かります。

Q12. ここからは、平和に関するより詳細な事柄についておうかがいします。次にあげる事柄について、あなたはどの程度ご存じですか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

※全体ベース

■ 「詳しく知っている」+「大まかなことは知っている」+「聞いたことがある程度」(TOP3) ■ 「詳しく知っている」+「大まかなことは知っている」(TOP2)



※数表はTOP3スコア

※全体スコアで降順ソート

Part2
平和への関心と
行動実態

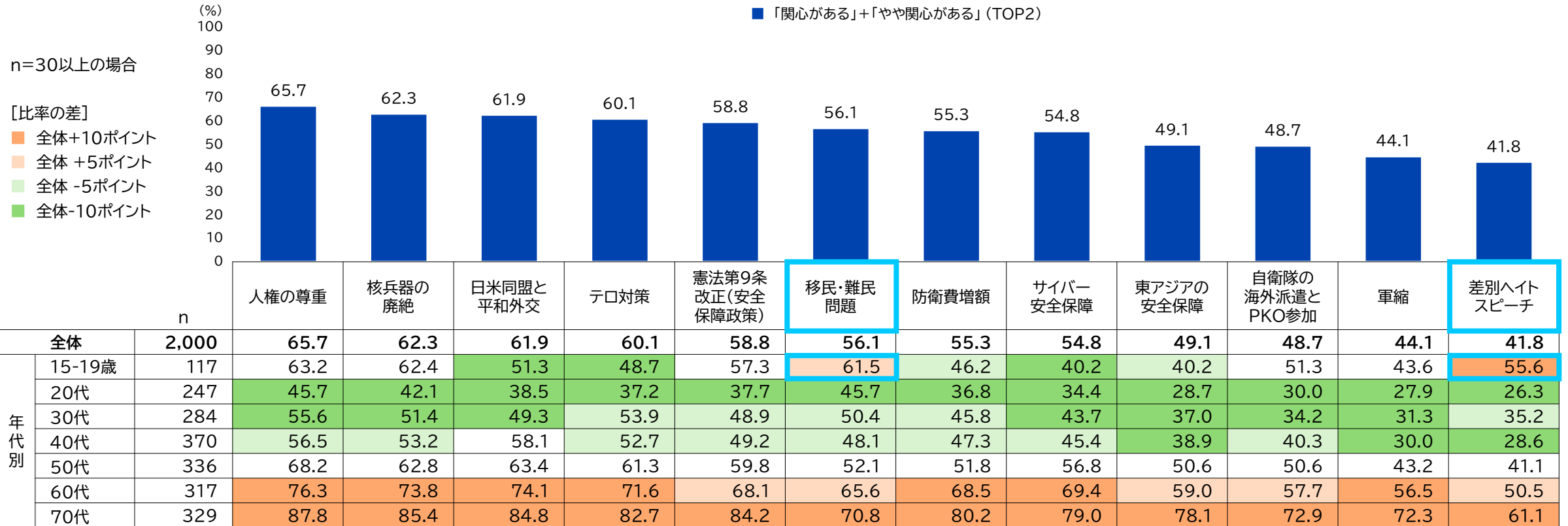
平和に関する事柄の関心度

続いて、平和に関する事柄についてどの程度関心があるか聞いたところ、「関心がある」+「やや関心がある」(TOP2)では『人権の尊重』といった根源的なものに加え、『核兵器の廃絶』『日米同盟と平和外交』『テロ対策』『憲法第9条改正』といった平和を直接脅かしそうな事柄への関心が6割程度で高くなっています。

年代別では、いずれの事柄でも20代~70代で年代が上がるほど関心は高くなる傾向がみられました。10代は20-30代と比べて関心の高いものが多く、特に『移民・難民問題』『差別ヘイトスピーチ』は相対的に高いことから人権意識の高さがうかがえます。

Q13. それでは、次にあげる事柄について、あなたはどの程度関心がありますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

※全体ベース



Part2
平和への関心と
行動実態

具体的なトピックの認知率

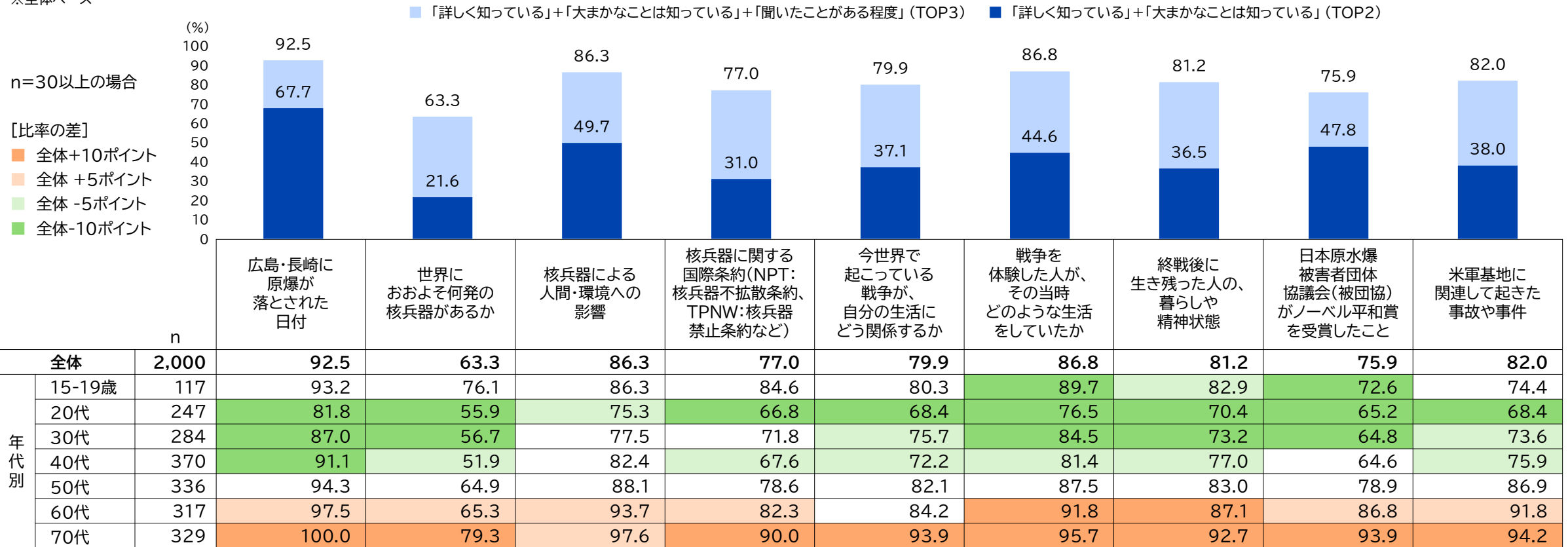
平和に関する具体的なトピックについて知っているかを聞いたところ、認知（詳しく知っている＋大まかなことは知っている＋聞いたことがある）では、全体的に7～9割程度のスコアとなりました。「広島・長崎に原爆が落とされた日付」などの史実だけでなく、「核兵器による影響」や「戦争体験者の暮らし」など、核や戦争による人間への影響まで幅広く認知されています。

ただし、理解（詳しく知っている＋大まかなことは知っている）では3～4割程度に留まっている項目が多く、理解まで及ぶのは難しい様子です。

年代別では、60代以上で認知率が高く、40代以下で低い傾向となっています。

Q16. 次にあげる事柄について、あなたはどの程度ご存じですか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

※全体ベース



※数表はTOP3スコア

Part2

平和への関心と 行動実態

平和について考えることの有無・頻度

平和について、日頃考えることの有無と頻度について聞いたところ、「月に1回以上・計」は約4割でした。

年代別で見ると、40代以上で、年代が上がるほど高頻度になる傾向があります。

また、日頃考えることがある方に、その頻度は5年前と比べて増えたかを聞いたところ、「増えた・計」は6割に達しています。ここ数年で世界の紛争に関するニュースを見聞きする機会が増えたこともあり、どの年代でも平和について考える機会は増えてきていると考えられます。

Q20. あなたは平和について、日頃考えることがありますか。また、考えることがある方は、どのくらいの頻度で考えていますか。

Q21. 「平和について、日頃考えることがある」とお答えいただいた方におうかがいします。

先ほどの質問で【【Q20の選択内容】】とお答えいただきましたが、その頻度は、5年前と比べて増えたり減ったりしていますか。

※Q20:全体ベース/Q21:平和について日頃考えることがある方ベース

「平和について日頃考えること」の有無・頻度

(%)

| n | | | 週に 1回以上 | 2週間に 1回程度 | 1カ月に 1回程度 | 3カ月に 1回程度 | 半年に 1回以下 | 平和 について 日頃考 えるこ とは ない | 月に 1回 以上・ 計 |
|-----|--------|-----|------------|--------------|--------------|--------------|-------------|--------------------------------------|----------------------|
| 全体 | 2,000 | | 17.0 | 7.1 | 15.6 | 6.6 | 16.9 | 37.0 | 39.6 |
| 年代別 | 15-19歳 | 117 | 15.4 | 11.1 | 20.5 | 8.5 | 12.0 | 32.5 | 47.0 |
| | 20代 | 247 | 9.7 | 8.9 | 13.8 | 4.5 | 15.8 | 47.4 | 32.4 |
| | 30代 | 284 | 13.4 | 9.2 | 14.1 | 6.7 | 13.4 | 43.3 | 36.6 |
| | 40代 | 370 | 12.4 | 4.6 | 14.6 | 7.3 | 19.2 | 41.9 | 31.6 |
| | 50代 | 336 | 18.2 | 3.9 | 17.0 | 7.1 | 21.1 | 32.7 | 39.0 |
| | 60代 | 317 | 21.1 | 8.2 | 16.7 | 6.0 | 13.6 | 34.4 | 46.1 |
| | 70代 | 329 | 25.8 | 7.3 | 15.2 | 6.4 | 18.5 | 26.7 | 48.3 |

※月に1回以上計は「週に1回以上」～「1カ月に1回程度」

「平和について日頃考えること」は5年前と比べて

(%)

| n | | | 増えた | やや 増えた | あまり 変わら ない | やや 減った | 減った | 増えた ・計 |
|-----|--------|-----|------|-----------|------------------|-----------|-----|-----------|
| 全体 | 1,260 | | 27.2 | 33.8 | 37.1 | | | 61.0 |
| 年代別 | 15-19歳 | 79 | 36.7 | 27.8 | 32.9 | | | 64.6 |
| | 20代 | 130 | 23.8 | 33.8 | 37.7 | | | 57.7 |
| | 30代 | 161 | 27.3 | 33.5 | 36.0 | | | 60.9 |
| | 40代 | 215 | 15.8 | 37.7 | 43.7 | | | 53.5 |
| | 50代 | 226 | 27.4 | 28.8 | 43.4 | | | 56.2 |
| | 60代 | 208 | 26.9 | 36.1 | 36.5 | | | 63.0 |
| | 70代 | 241 | 36.1 | 35.3 | 27.4 | | | 71.4 |

※3.2%未満はスコア非表示

増えた・計は「増えた」+「やや増えた」

Part2

平和への関心と
行動実態

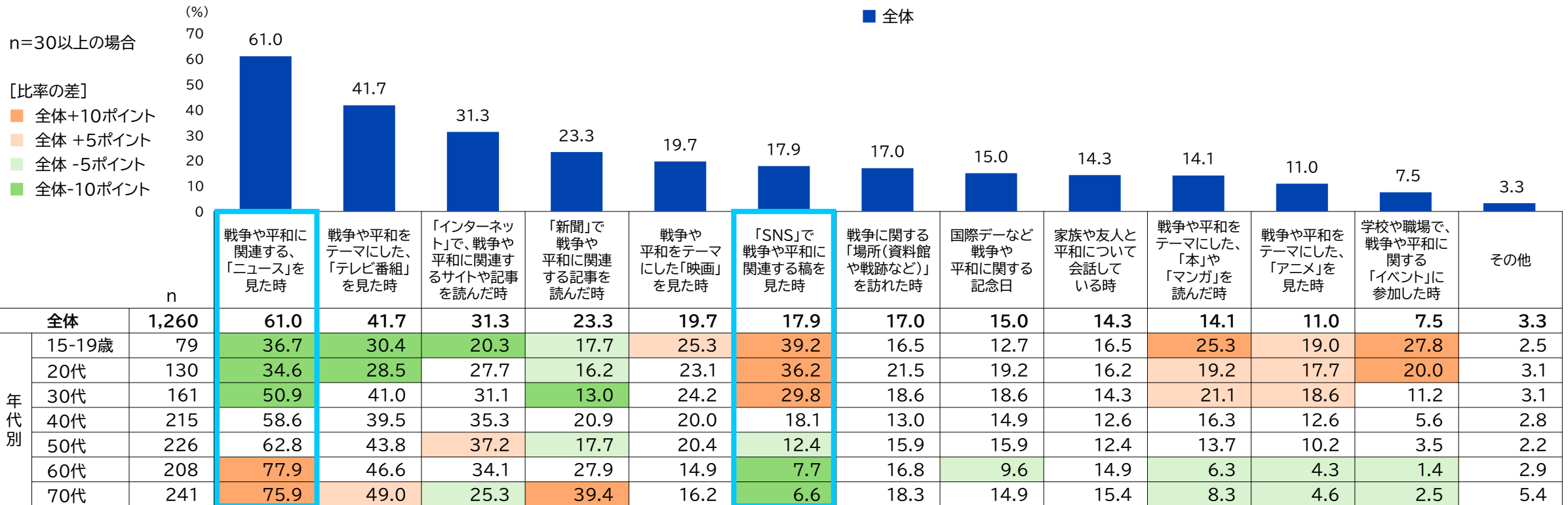
平和について考えるきっかけ

平和について日頃考えることがある方に、考えるきっかけを聞いたところ、「ニュースを見た時」が6割で最多、「テレビ番組を見た時」が4割で続き、テレビが“マスメディア”としての役割を果たしていることが分かります。

ただし、年代別では傾向が異なっており、60-70代では「ニュース」が圧倒的に高いのに対して、10-20代の若年層では「SNS」がトップとなっています。また、若年層では「マンガ」「アニメ」「イベント」も比較的高く、身近なコンテンツが平和を考えるきっかけになる可能性もありそうです。

Q22. 先ほどの質問で「平和について、日頃考えることがある」とお答えいただいた方におうかがいします。あなたはどのようなことをきっかけにして、平和について考えることが多いですか。あてはまるものを全てお選びください。

※平和について日頃考えることがある方ベース



Part2

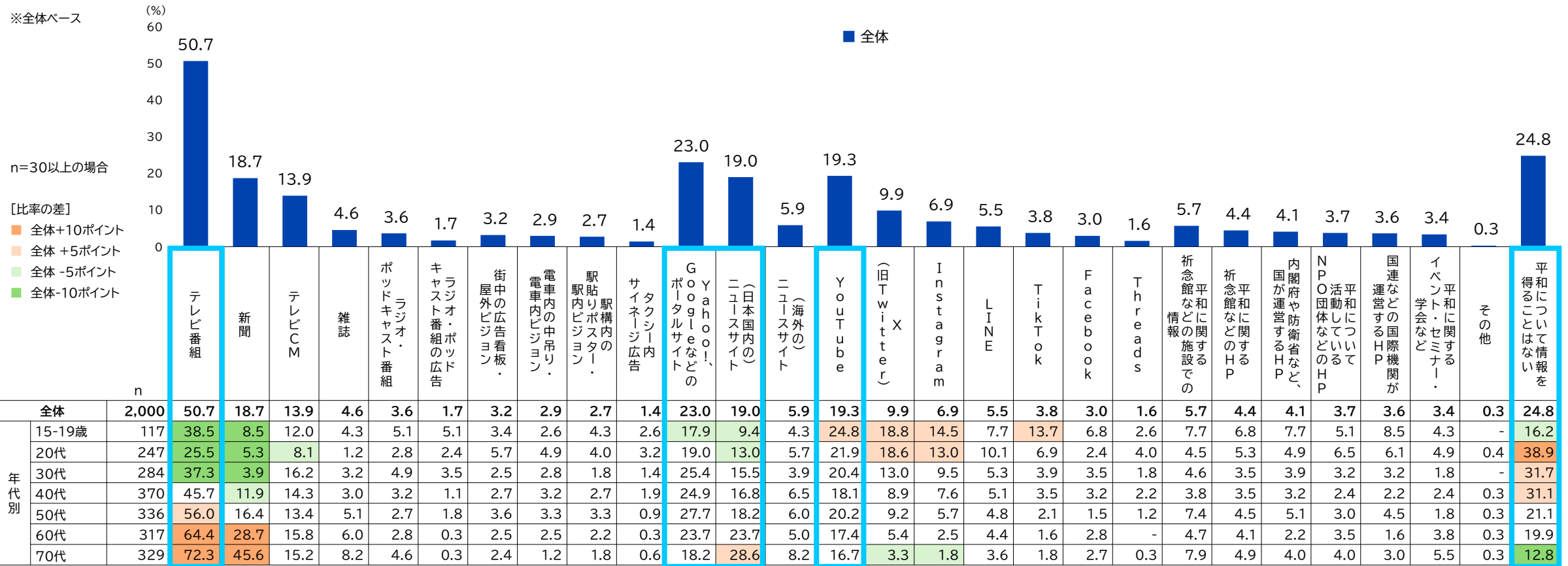
平和への関心と 行動実態

平和に関する情報源

平和に関する情報を普段得ているメディアを聞いたところ、「テレビ番組」が5割と最も高く、「Yahoo!、Googleなどのポータルサイト」「国内のニュースサイト」「YouTube」が2割程度で続きます。

年代別では、高齢層で「テレビ番組」「新聞」、若年層で「SNS」が高く、普段使っているメディアで平和に関する情報も得ていると考えられます。なお、「平和について情報を得ることはない」人も一定数存在しており、特に20代～40代では3割超と他の年代より多くなっています。

Q28. 次にあげるメディアについて、平和に関する情報を普段得ているメディアはありますか。あてはまるものを全てお選びください。



Part2

平和への関心と
行動実態

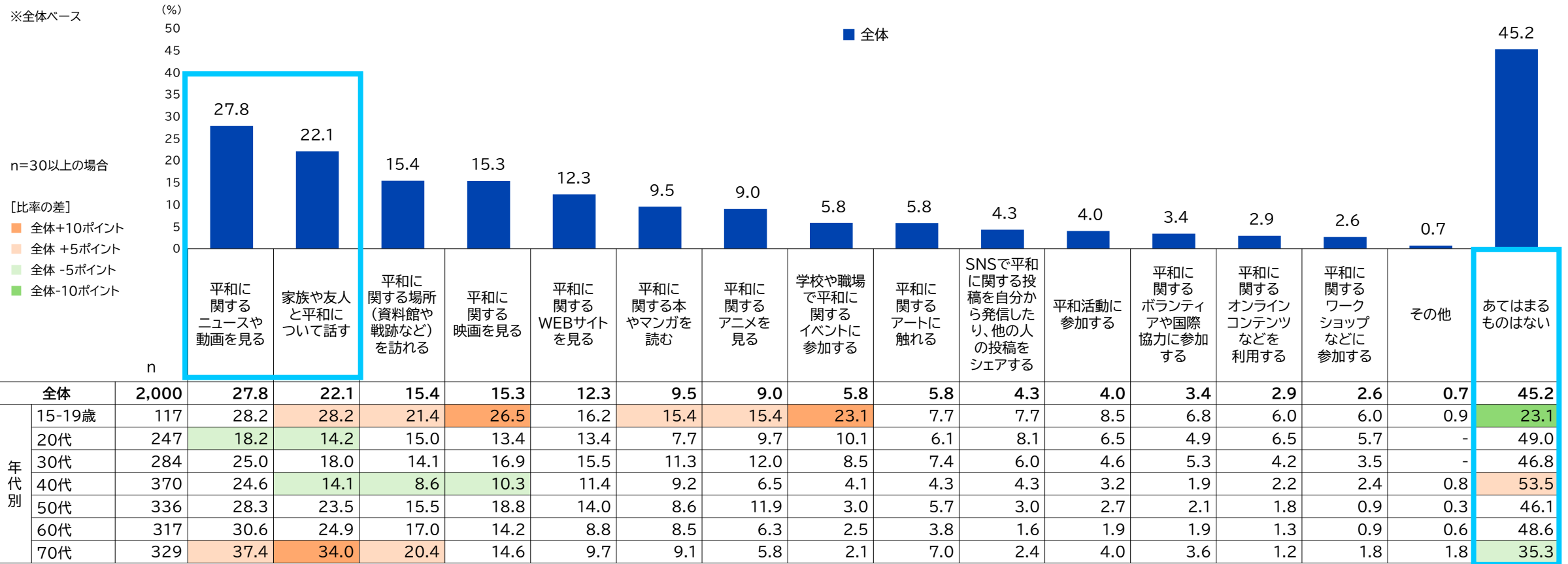
取り組んだことのあるもの

平和に関する事柄について、取り組んだことがあるものを聞いたところ、「平和に関するニュースや動画を見る」「家族や友人と平和について話す」がそれぞれ2割以上と、手軽に日常の中で取り組める事柄が上位にあがりました。

年代別では、10代・70代で何かしらに取り組んだことがある割合が高めとなっています。

なお、「いずれも取り組んだことがない」「あてはまるものはない」人も4割存在し、特に40代では半数以上が該当します。

Q23S1. 次にあげる平和に関する事柄について、あなたが取り組んだことがあるものがありますか。また、今後(も)取り組みたいものがありますか。あてはまるものを全てお選びください。



Part2

平和への関心と
行動実態

取り組んだ具体的な行動

平和について取り組んだことのある具体的な事柄としては、平和の大切さや、平和について考えたことなどを“身近な人に話す”“その他、”黙祷する””テレビ・映画・SNSなどで知識を得る”などがあがり、身近にできるところから取り組んでいる人が多いようです。一方で、“ウクライナへの募金”や”SNSでの情報発信””デモへの参加”など、一歩踏み込んだ行動を起こしている人もおり、それぞれができる範囲で行動している様子が見えます。

Q25. 先ほどの質問で「平和に関する事柄について、取り組んだことがある」とお答えいただいた方におうかがいします。あなたが行動していることを具体的に教えてください。どんなことでも構いませんので、ご自由にお答えください。

※全体ベース

身近な人と話す

- ・ いかに平和が大事か、戦争を行ったという史実があり、そのためにいろんな犠牲をはらって今の日本があることを家族と話す（女性_50代）
- ・ イベントや行事には参加していないが平和の大切さを子供たちや大人と話し合うようにしている（女性_60代）
- ・ ただ見て考えて身近な人と話すだけで、取り組んでいるとっていいのかという状態（女性_50代）

原爆の日や終戦の日

- ・ 8月15日には黙祷する（男性_70代）
- ・ 8月の原爆の日が近づくとなんとなく何にもしないしていると、戦没者に対し悪い様な気持ちになり、キャラバンなどに参加させてもらったりしている（男性_70代）

SNS

- ・ SNSでどのような世論があるか調べてる（男性_30代） ・ SNSで戦争についての内容を見る（男性_20代） ・ snsでnowarを発信（男性_20代）

テレビ・映画などで
知識を得る

- ・ ウクライナの戦争のニュースを見たり、第2次世界対戦の資料がある博物館に行ったりした。また、学校の授業で、実際の映像や、映画なども見た（男性_15-19歳）
- ・ それぞれの国家間における立場とその関係についての知識を得るために本や映画を見ている（男性_30代）
- ・ テレビの特集はみたりすることがある。広島、長崎に関係があるので（女性_40代）
- ・ テレビの報道特集でやっていると見てしまう（男性_50代）
- ・ テレビ番組や動画で情報を取り入れ、自分なりにファクトチェックしている（男性_50代）
- ・ ドキュメンタリー等で当事者の価値観などを学ぶ（男性_30代）

募金/その他

- ・ ウクライナに募金をした（女性_60代） ・ デモに参加（男性_50代）

Part2

平和への関心と 行動実態

最も関心のあるトピック/トピックの賛否

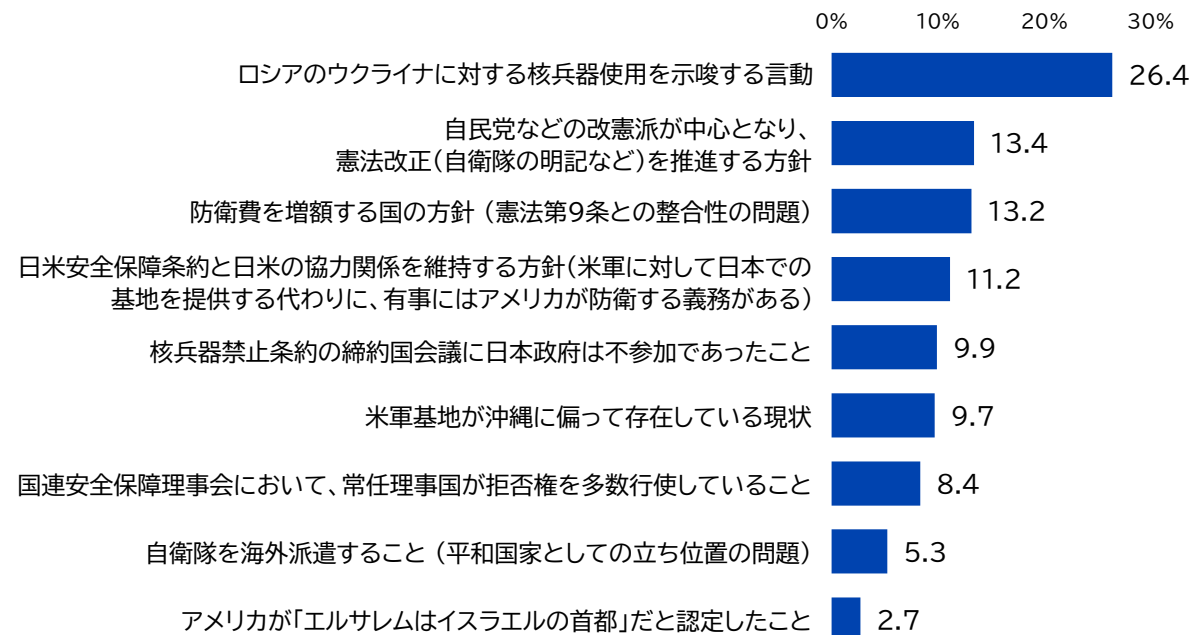
平和に関するトピックについて最も関心があるものを聞いたところ、
「ロシアのウクライナに対する核兵器使用を示唆する言動」が26.4%と一定の関心を集めているようです。
各トピックの賛否も聞いたところ、一部を除きほとんどのトピックで「どちらともいえない」が4割程度存在しており、
「賛成」「反対」と明確には答えられない複雑さ・難しさを感じられます。

Q17. 次にあげる平和に関するトピックについて、賛成か反対か、あなたのご意見を教えてください。

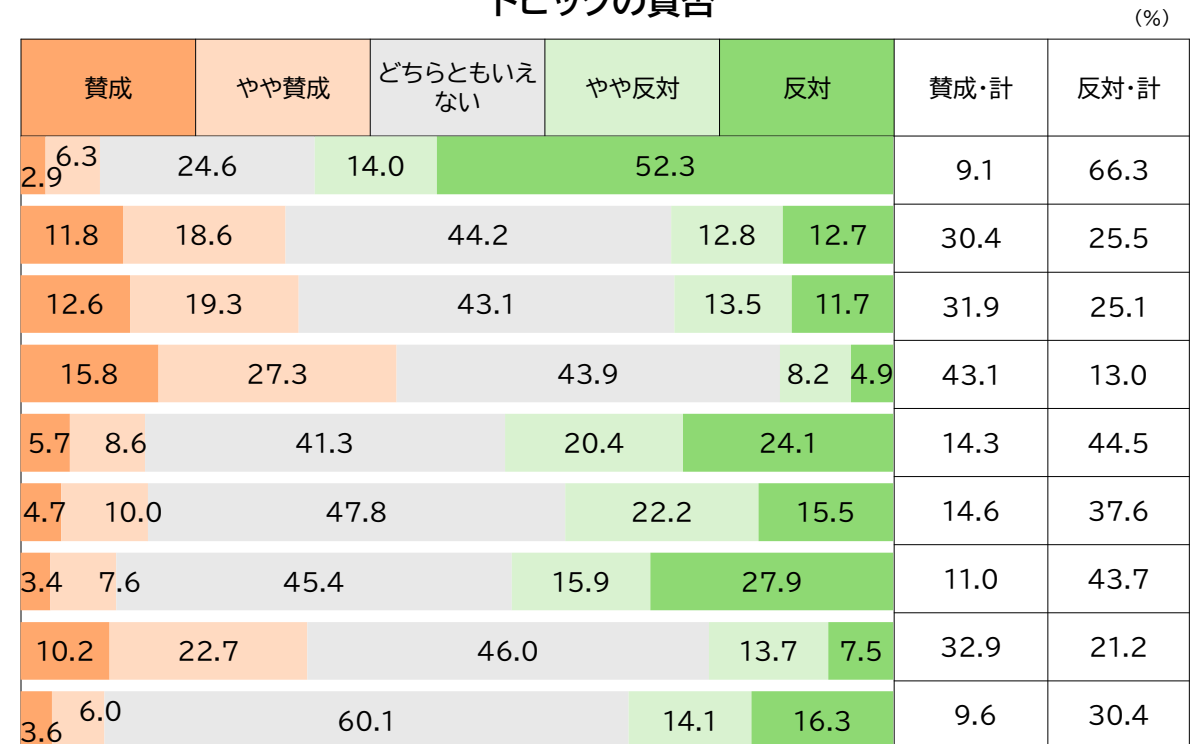
Q18. 次にあげる平和に関するトピックについて、最も関心があるものはどれですか。あてはまるものをひとつだけお選びください。

※全体ベース
(n=2000)

最も関心のあるトピック



トピックの賛否



※賛成・計は「賛成」+「やや賛成」/反対・計は「反対」+「やや反対」



Part3

平和への課題認識と 取り組みまでのハードル

Part3

平和への課題認識
と取り組みまでの
ハードル

平和に関する具体的な事柄への課題認識

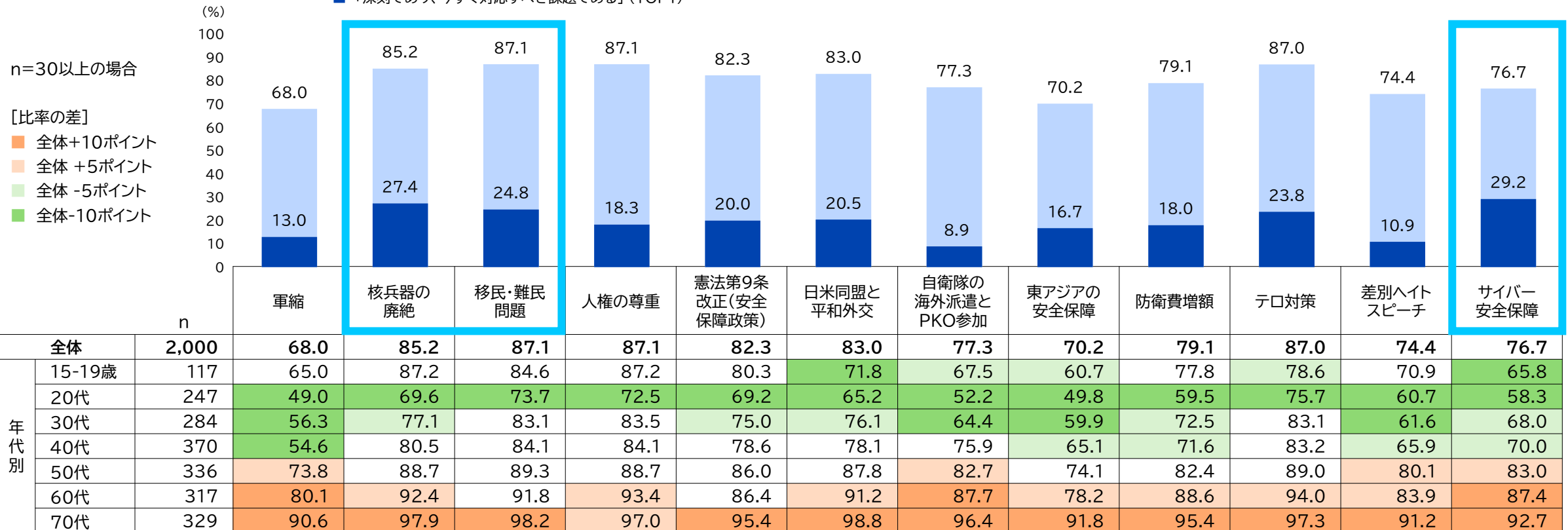
平和に関する具体的な事柄についてどの程度差し迫った課題だと思うか？を尋ねると、「課題であると思う(TOP3)・計」と回答した人はほとんどの項目で7～9割程度となり、多くの事柄について課題であると認識されている様子です。

なかでも『サイバー安全保障』『核兵器の廃絶』『移民・難民問題』などでは「深刻であり、今すぐ対応すべき課題である(TOP1)」が比較的高めで、喫緊の課題であるとみなされています。

Q14. 次にあげる事柄について、あなたはどの程度差し迫った課題だと思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

※全体ベース

■ 「深刻であり、今すぐ対応すべき課題である」+「深刻になることが予想され、今後対応していくべき課題である」+「課題であると思うが、今は対応が不要な課題である」(TOP3)
■ 「深刻であり、今すぐ対応すべき課題である」(TOP1)



※数表はTOP3スコア

Part3

平和への課題認識
と取り組みまでの
ハードル

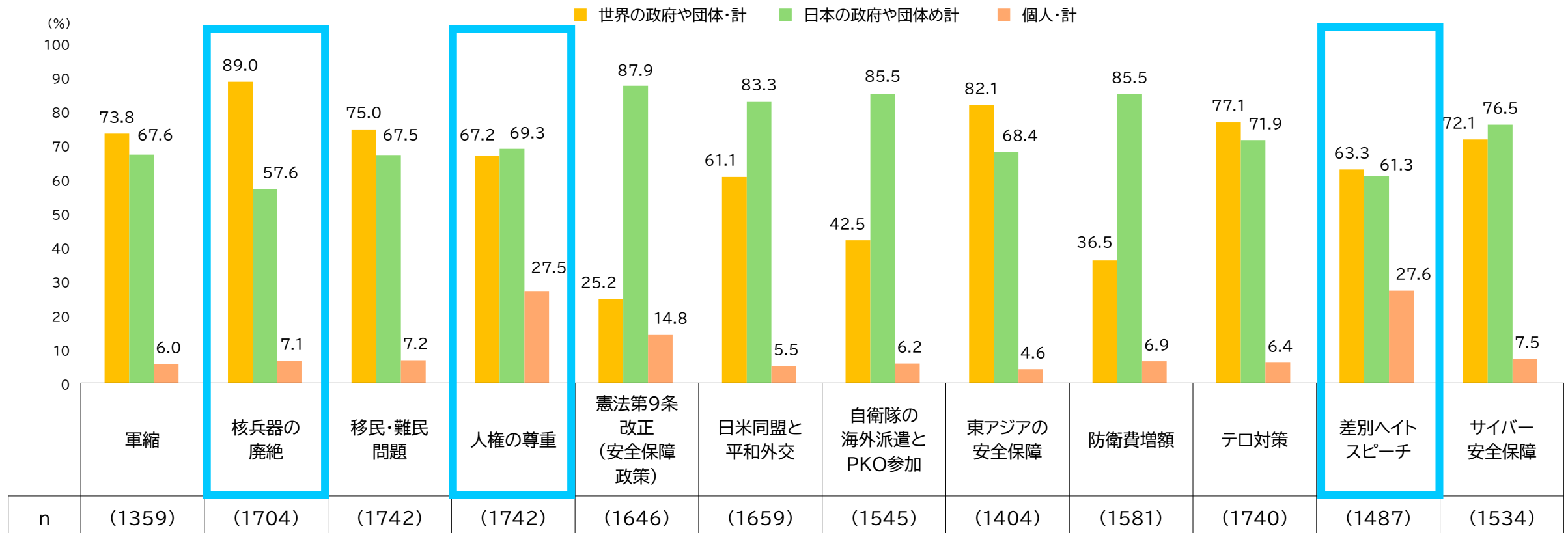
課題を解決すべき人や団体

『課題である』と思っている項目について「誰が解決すべきだと思うか？」を尋ねると、『核兵器の廃絶』では「世界の政府や団体・計」が最も高く、日本だけでなく世界で協調して取り組むものだという生活者の意識が強く表れています。

また、『人権の尊重』『差別ヘイトスピーチ』では他項目と比べて「個人・計(社会活動家/自分以外の個人/自分)」が25%以上と高めで、政府や団体だけでなく、個人で取り組むこともできる課題だと認識されている様子です。

Q15. 次にあげる事柄について、誰が解決すべき課題だと思いますか。それぞれについてあてはまるものを全てお選びください。

※課題であると思っている方ベース



Part3

平和への課題認識
と取り組みまでの
ハードル

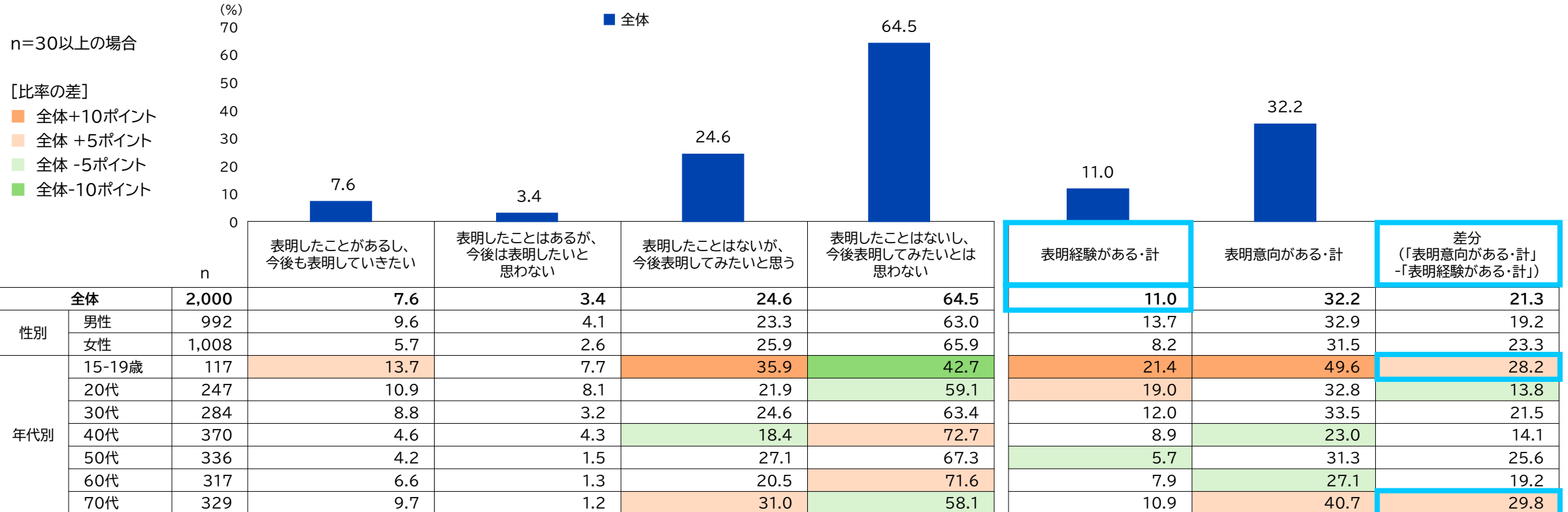
平和を望む気持ちの表明経験の有無と意向

平和について意思表示した経験を聞いたところ、「表明経験がある・計」はわずか1割に留まりました。

一方で、「表明意向がある・計」は3割程度となり、表明をしたい気持ちはあってもなかなか行動にできない人が一定数いることが分かりました。
年代別にみると、特に10代や70代で意向と経験の差が大きく、ギャップを抱えている人が多いようです。

Q29. あなたは「平和を望んでいます/平和について考えたり行動することがあります」と他の人が見聞きできるような形で表明したことがありますか。また、表明したいと思いますか。

※全体ベース



※「表明経験がある・計」は「表明したことがあるし、今後も表明していきたい」+「表明したことはあるが、今後は表明したいと思わない」

※「表明意向がある・計」は「表明したことがあるし、今後も表明していきたい」+「表明したことはないが、今後表明してみたいと思う」

Part3

平和への課題認識
と取り組みまでの
ハードル

表明にあたってハードルになっていること

表明にあたってハードルになっていることとして、「自分ひとりでは影響力がない、といった無力感」や、「今の生活で精いっぱいゆとりがない」「周りからどう思われるか不安」「知識がない状態で、軽い気持ちで発言できない」「誰かを傷つけない」など、多方面にハードルが存在している様子です。

また、物理的なハードルよりも、心理的なハードルをあげる生活者の声が多くみられました。

Q30. 先ほどの質問で、「平和を望んでいます/平和について考えたり行動することがあります」と【前問回答内容参照】とお答えいただきましたが、具体的にどのような方法でどのような表明をしていますか。

※全体ベース

なるようにしかならないと思う。私1人の力ではどうにもならない。それであれば 今の現実を大切に、今この時間を大切に 自分の人生を生きた方がいいと思っている。臭いものに蓋をしてるわけではないが、現実は厳しい
(女性_50代)

今は家族が増えるのと今日生きていくためのお金があるかどうかで、いっぱいだから。
子供にやりたい事をやらせてあげたいのと老後の貯金をどうやって増やすとか考える事はあるから
(女性_40代)

意識高い人間と思われて茶化されることですね。
日本にいる時点で発言しても馬鹿にされるだけ
(男性_30代)

平和が良いと誰もが思っていると思うので、そのようなアピールをわざわざしたいとは思わないから。そのようなアピールを強く表現していると思想強めだと思うから
(女性_20代)

自分の考えに自信がなく、他人の反応が怖いから
(女性_40代)

知ったかぶりでもっともらしい発言をすることは避けねばならないと思うから。
表明する以上きちんとした知識や痛みへの理解が必要だと思うから
(女性_60代)

戦争を知らない私が表明しても説得力がないし何の力もない私なんか軽く発言するのは恥ずかしいと思うので気持ちの中で考えて行きたいと思います
(女性_60代)

自分の発言で誰かを傷つけないか怖い
(男性_15-19歳)

自国の平和のための行動は、他国や違う考えを持つ人からすると不快だと思われるから
(女性_15-19歳)

Part3

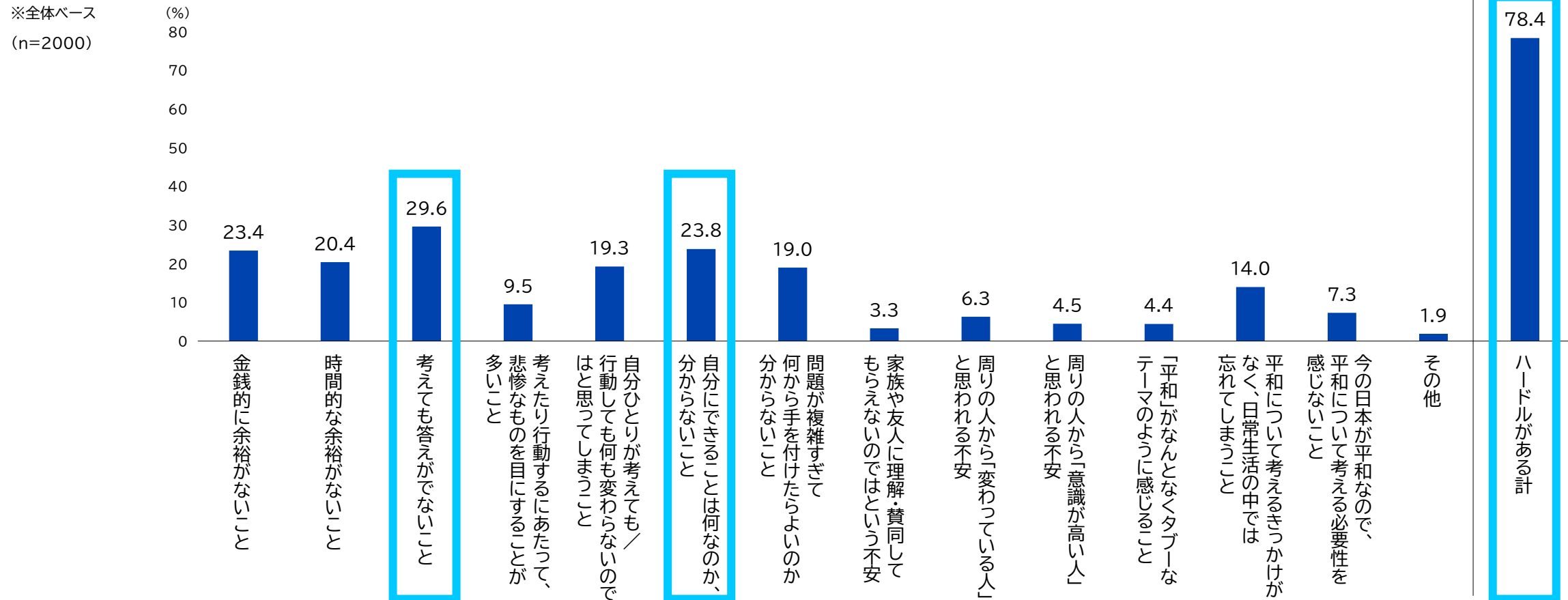
平和への課題認識
と取り組みまでの
ハードル

平和について考えたり行動するにあたってハードルになっていること

平和について考えたり行動するにあたってのハードルを聞くと、何かしらのハードルがあると回答した人は約8割と、多くの人が難しさを感じていることが分かりました。

表明にあたってのハードル(前頁)同様に、「金銭的に余裕がない」「時間的な余裕がない」といった物理的な要素もありますが、それ以上に「考えても答えが出ない」「自分にできることは何なのか、分からない」といった、問題の難しさや複雑さがハードルとなっている様子がうかがえます。

Q26. それでは、平和について考えたり、何か行動をするにあたって、ハードルになっていることはありますか。あてはまるものを全てお選びください。



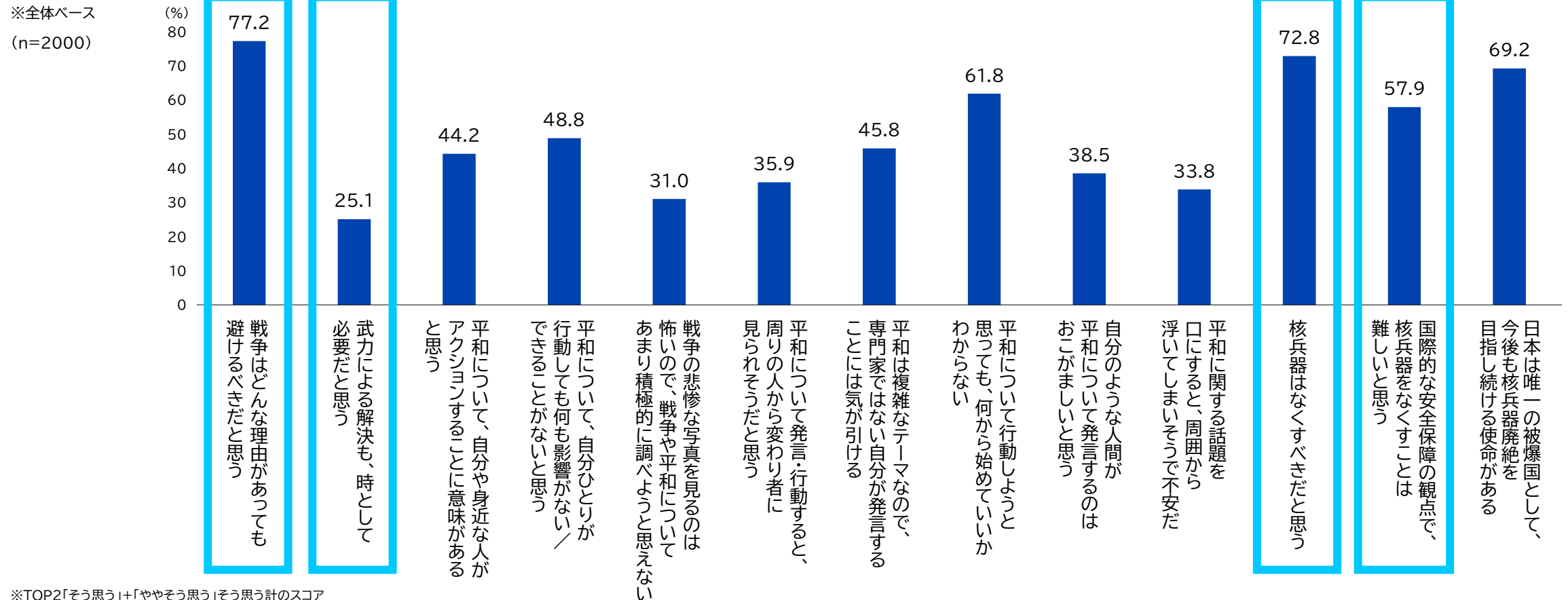
Part3

平和への課題認識
と取り組みまでの
ハードル

平和に関する価値観

7割以上の人が「戦争はどんな理由があっても避けるべき」「核兵器はなくすべき」と思っているものの、「核兵器をなくすことは難しいと思う(57.9%)」「武力による解決も時に必要だと思う(25.1%)」と考えている人も一定数おり、理想と現実が併存していると言えます。また、「行動しようと思っても何から始めていいかわからない」「自分ひとりが行動しても何も影響がない」など、平和という大きなテーマに向き合うことの難しさがある一方で、「平和について、自分や身近な人がアクションすることに意味がある」と希望を抱く生活者の思いも見えてきました。

Q32. 次にあげる事柄について、あなたのご意見をそれぞれお答えください。



※TOP2「そう思う」+「ややそう思う」そう思う計のスコア



Part4

平和を願う温かな気持ち

Part4

平和を願う
温かな気持ち

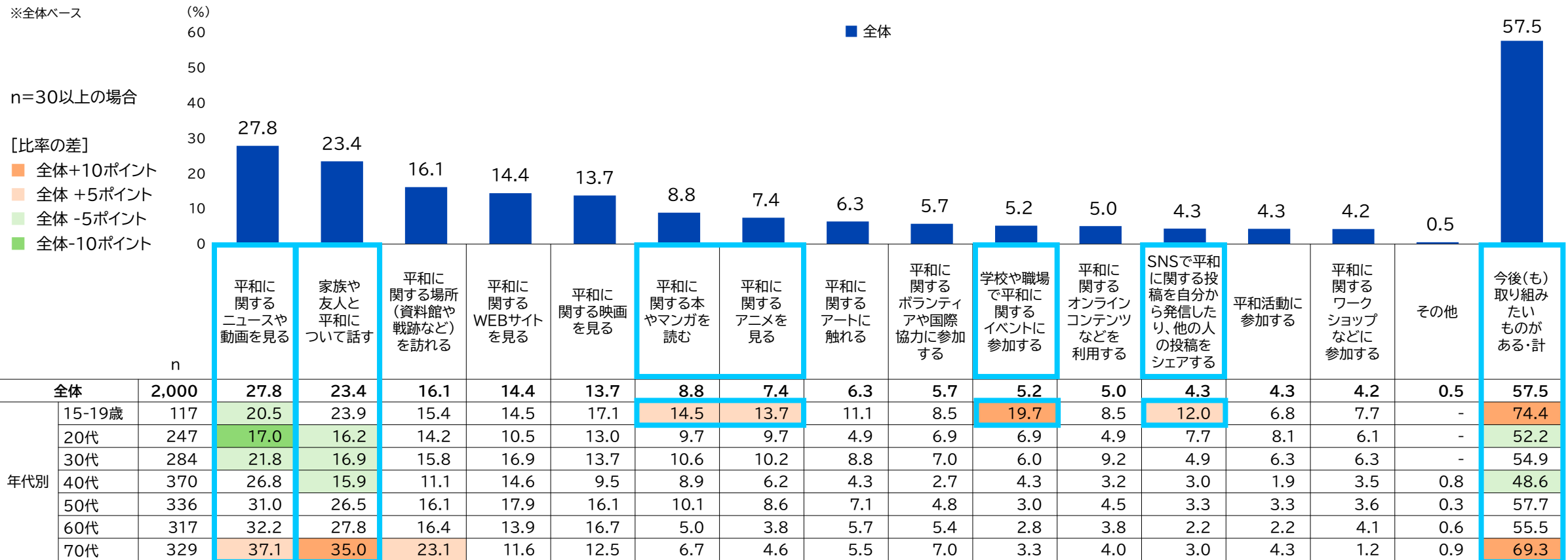
平和について今後(も)取り組みたいもの

平和行動へのハードルがある中でも、約6割の人が「今後(も)取り組みたいものがある」と回答しました。

10代では「イベントに参加する」「SNSでの発信やシェア」「平和に関する作品に触れる」など、意向は比較的高めです。

どの年代でも外部の人と協力をしたり発信するものへの意向は低めの傾向ですが、自分のみで完結する「平和に関するニュースや動画を見る」や、身近な人と取り組む「家族や友人と平和について話す」などは高めとなっており、取り組みの足掛かりとなりそうです。

Q23S2. 次にあげる平和に関する事柄について、あなたが取り組んだことがあるものはありますか。また、今後(も)取り組みたいものはありますか。あてはまるものを全てお選びください。



※「全体」スコアで降順ソート

Part4

平和を願う
温かな気持ち

平和に関するスモールアクションへの意向

平和に関するスモールアクションをみると、「平和に関連する日を覚えて意識する」「平和に関連したメッセージ性のある作品に触れる」などで半数以上の人々が「今後取り組んでみたい」とその意向を示しています。(特に10代/70代でスコアが高い)

これまでの頁で、「行動しようと思っても何から始めていいかわからない」などのハードルも存在していましたが、小さなアクションであれば取り組んでみたいと思える、生活者の気持ちもみえてきました。

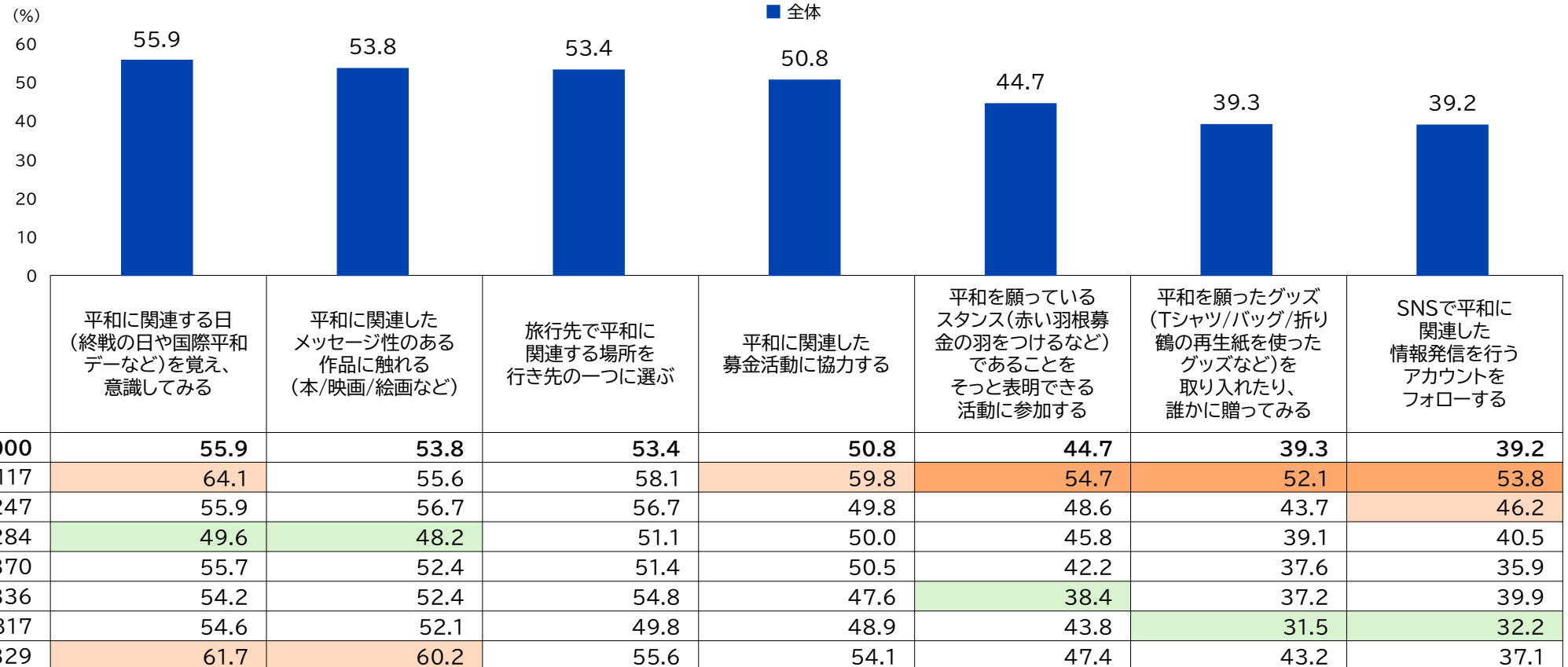
Q27. 次にあげる「平和に関するスモールアクション」をご覧ください、取り組んだことがあるものや、取り組んでみたいと思うものはありますか。それぞれについてお選びください。

※全体ベース

n=30以上の場合

[比率の差]

- 全体+10ポイント
- 全体 +5ポイント
- 全体 -5ポイント
- 全体-10ポイント



※「今後、積極的に取り組んでみたい」+「今後、機会があれば取り組んでみたい」のスコア

※「全体」スコアで降順ソート

Part4

平和を願う
温かな気持ち

平和になったら実現してほしい/平和でなくなっても無くならないでほしいこと

「平和になったら実現してほしいこと」や「平和でなくなっても無くならないでほしいこと」としてあげられたのは、決して特別なことではなく、これまで築かれてきた日本の文化や、これから子どもや孫世代などを思い、「当たり前の日常がどうか続いてほしい」という願いです。

Q8. もしも、今後の日本が今より平和になったとき、どんなことが実現してほしいですか。どんなことでも構いませんので、ご自由にお答えください。

Q9. もしも、今後の日本が今より平和でなくなってしまったとき、今の日本からどんなことがなくなってほしくないと思いますか。どんなことでも構いませんので、ご自由にお答えください。

※全体ベース

平和になったら実現してほしいこと

それぞれの人が自分に合う場所や生活
習慣スタイルで平穏に生きられるように
なってほしい
(女性_30代)

気持ちが穏やかに他人を思いやれる人
が増える、前向きに生きて行ける
(女性_70代)

子供や孫たちが幸せに暮らしてほしい
(女性_50代)

若い世代は安心して子育て出来る環境
が整い少子化に歯止めがかかること。
高齢者は長生きして幸せだと心から思
える日本 (女性_70代)

国境も軍備もない世界
(男性_50代)

「ここには行きたくないな」という躊躇が
なくなってほしい。今の日本にはまだ行
くことを躊躇うような治安の悪い場所が
存在するから (男性_40代)

平和でなくなっても無くならないでほしいこと

戦争になっても、戦争反対の言論が自由
に発言できる状態であってほしい。言論
弾圧が平和を遠ざけると思う
(男性_60代)

一人でも安心して出歩くことができる状
態はなくなってほしくないと思っている
(男性_40代)

電車で居眠りできること。
落とし物が高確率で持ち主の元に戻っ
てくること
(女性_30代)

当たり前の事が出来なくなること。
例えば、朝昼晩の食事を家族で囲むこと
や買い物に出かける事、自分の家で暮ら
せる事 (女性_40代)

他人を助ける姿勢や思いやりは持って
欲しいです
(男性_20代)

必要な人に適切な医療が提供されるこ
と。
すべての子どもたちに適切な教育の機
会が与えられること (女性_20代)

Part4

平和を願う
温かな気持ち

あなたにとって平和とは

平和とは何なのか、ご自身の言葉で回答いただきました。

「今の自分の日常が続いていくこと」「安心して暮らしていけること」「互いを思い合う気持ちを忘れないこと」など、特別なことではなく、いつもの暮らしが続いていく、その日常を大切にしていきたい、そんな思いがみえてきました。

Q10. あなたにとって平和とは何ですか。平和と聞いて思い浮かぶものや情景など、どんなことでも構いませんので、ご自由にお答えください。

Q35. ここまで平和に関する設問にお答えいただきましたが、改めておうかがいします。あなたにとって平和とは何ですか。

※全体ベース

お金の心配がなく、自分で動いて生活することができ、
気持ちの良い天候に恵まれている時
(女性_60代)

明日を不安に思うことなく、毎日生きていられること。
空腹や寝る場所の心配をしないで生活できること
(女性_40代)

いつもの日常。
友達と会って話したり笑ったり。
本を読んだり買い物したり
(女性_60代)

子供が付き添いなくして通学している様子。
外国人からすると平和ボケと言われようと安心安全が
守られていること。
基本的に人と人が信用しあっていること
(女性_70代)

どんな世代の人でも、他者に対して第一に警戒しなくて
はいけない考えを抱かずに済むこと
(男性_40代)

戦争がなく、世界の人々がそれぞれ協調性を持ちながら、
尊厳を奪われることなく、安心して幸せに生きることが
できること
(女性_30代)

世界中の人々が国籍や宗教、肌の色、言葉など関係なく、
仲良くすること。
もし、国同士で喧嘩が起きてしまっても、武力ではなく
話し合いで解決すること
(女性_15-19歳)

人種や言語、歴史的背景、信仰する宗教、国家主義に関係
なく他人を助けること
(男性_20代)

目上を敬う。
弱者を助ける。
パイ・フォワードのような心
(女性_60代)

最後に | 調査後記

今回の調査では「時間的な余裕がない」といった物理的なハードル以上に、「考えても答えが出ない」「自分ひとりでは影響力がない無力感」「周りからどう思われるか不安」といった心理的なハードルが平和への行動を阻んでいることが分かり、私自身としても深く共感していました。

すべての人にとって平和は望ましいことであるはずなのに、「政治・宗教・野球の話はするな」のフレーズのように、どこか口に出しづらいテーマであり、現代の日本では平和を望んでいる人がどれほどいるのか見えづらい状況であると思います。そんな中、「皆が平和であってほしいと願っていて、それは日本に対しても、世界に対しても変わらない」ということや「小さなアクションから平和について取り組んでみたい」と思う生活者の姿から、実は同じように平和を願っている仲間がいるのだと分かり、とても嬉しく、そして心強く思いました。

平和というのは壮大なテーマであり、向き合うのが難しいところもあるかもしれません。ですが、戦争体験者が少なくなっていく今後も、当たり前前の日常を守る当事者として、平和と向き合ってほしい。この調査が知る、考えるきっかけとなり、ご自身の心の中や身近な人との対話が生まれていくことを願っています。